



南部町立南部中学校 学校だより 第10号

千一ム南部中

令和4年8月30日(火)

校長 望月和彦

34日間の夏休みを終え 2学期スタート



8月26日(金)2学期の始業式を体育館で行いました。式の前には新たな仲間を紹介しました。3年A組に所属することになった望月里侑さんです。里侑さんが加わり、全校生徒が140人になりました。始業式ではCDに合わせて校歌を心の中で歌った後、代表生徒が2学期の抱負を発表しました。1年の池田悠真さんは「初めての輝城祭に向けて団結して、様々な壁を乗り越えていきたい。」2年の望月裕理さんは、2学期の学年の目標として「本音を伝え合えるようにしたい。思ったことを行動に移せるようにしたい。そして、理想の自分や学年に近づいていきたい。」3年の旗持唯さんは「最後の輝城祭や音楽発表会では、これまで

での伝統を受け継ぐだけでなく、今までを越えられるようにがんばりたい。そのために、様々な活動を人任せではなく、自分事としてとらえ、下級生に3年生としてふさわしい姿を見せていきたい。」生徒会事務局の遠藤爽さんは、今年の生徒会スローガン「変化をつかむ」に関わって「輝城祭や音楽発表会は、自分や集団を変えるチャンスです。それらの行事を通して全員が成長できるように取り組みましょう。30日には身につけたい力交流会があるので、他学年との交流も深めていきましょう。」堂々と発表する4人の代表者の姿、その話を聴いている生徒たちの姿から、夏休みを終えて体も心もひとまわり成長したように感じました。私は、始業式の中で次のような話をさせてもらいました。



7月22日の終業式から34日間の夏休みが終わり、今日こうして皆さんの元気な顔を見ることができたことは何よりです。皆さんもご存じの通り、夏休みにも新型コロナウイルスの感染状況は厳しい状況が続き、県内では毎日のように1,000人以上の感染者が発生しています。(略)今後もしばらくは南部町内、本校の中で感染者が発生することはしかたないと考えなければなりません。大切なことは感染者が発生しても、可能な限り感染を広げないこと、感染リスクがあるので休ませなければならない人を少なくすることです。そのためには、自分の体調が悪い場合はもちろん、同居家族にも発熱等があったりした場合は、大事をとって学校を休んでもらうことが大切です。学級閉鎖や臨時休業をしないためにも、私を含め教職員はもちろん、皆さんの協力をよろしくお願いします。

(略…夏休み中の生徒たちの活躍や学校の様子…)

さて、今日から2学期がはじまります。2学期は授業日数が1学期より10日ほど多く、81日あります。そして、学級集団、学年集団、生徒会という集団の力を発揮させる輝城祭、音楽発表会があります。全員で感動を味わえるようなものをつくってほしいと願っています。部活動では、1・2年生は新人戦、吹奏楽部のアンサンブルコンテスト、美術文芸部はライフミュージアムに向けた取り組みなどもあります。3年生の姿を目標に、追いつき追い越せるようがんばってください。また、3年生は今学期が進路選択の学期になります。様々な進路先の情報収集と入試に向けた学力アップに力を入れてください。教達検をはじめとする様々なテストで努力の成果を残し、12月には一人一人が納得できる進路選択ができることを期待しています。

一人一人や集団にとって中身の濃い2学期になるよう、全校生徒140人のさらなる成長を期待しています。

夏休み中の出来事

7月23日に山梨県吹奏楽コンクールがYCC 県民文化ホールで行われ、本校吹奏楽部が中学校B部門に出場しました。23人中15人が楽器を握ってまだ数ヶ月の1年生という吹奏楽部ですが、3年生にとっては最後のコンクールであり、3年生をリーダーとして、2年生・1年生が心をつなげて取り組んできました。当日は大きなホールでたくさんの観客が見守る中で精一杯演奏できました。

7月25日から30日まで種目ごとに県総体が行われ、本校からは男女のバレー部、野球部、女子ソフトテニス部が峡南地区代表として出場しました。それぞれの会場で、3年生は中学での部活動の集大成の場として、3年間やってきたことを出し尽くそうと、1・2年生は3年生に少しでも長く続けてもらおうと、心を一つにして熱戦を繰り広げました。その結果、男子バレー部が準優勝、野球部が第3位という



輝かしい結果を残しました。男子バレー部は8月8日に栃木県宇都宮市で開催された関東大会に、野球部は8月10・11日に神奈川県平塚市で行われた笹尾杯に出場し、ともに山梨県代表として他県の代表校と対戦することが



できました。また、峡南地区陸上で代表権を得た生徒たちが県総体の陸上の部に出場し、4名の生徒が入賞しました。

男子バレーボール部	<県総体> 榎形中、押原中ともに2-0で勝利 準決勝で田富中に2-0で勝利 決勝戦で日本航空中に0-2で敗退 山梨県準優勝 <関東中学校バレーボール大会> 浅草中(東京)に0-2で敗退
女子バレーボール部	<県総体> 甲府南中に0-2で敗退
野球部	<県総体> 甲府西中に3-1で勝利 山梨北中に6-0で勝利 準決勝で玉穂・田富合同チームに2-3で敗退 山梨県第3位 <笹尾晃平杯> ウィングスJr(東京)に17-0で勝利 横浜K-CLUB(神奈川)に6-8で敗退
女子ソフトテニス部	<県総体> 都留一中に1-2で敗退
陸上競技 (18人の生徒が出場)	<県総体入賞者> 1年砲丸投: 佐野春真2位 2年走高跳: 市川瑛士3位 共通100mH: 佐野結菜3位 2年砲丸投: 狐塚美桜4位
吹奏楽部	県吹奏楽部コンクールB部門に出場「ガラスの千切り絵」を演奏 「銅賞」

その他、夏休み中には、学年ごとの学習会や輝城祭への取り組み、部活動、輝城祭の部門ごとの取り組みなど、生徒たちが暑さの中生き生きと取り組む姿が見られました。また、園芸委員の生徒たちが、土日も含めて交替で植物への水やりを行ってくれました。一方、感染症拡大のため、身延高校で予定されていた3年生希望者のサマーセミナーや防災リーダーが参加する予定だった防災セミナーなどは中止になり、PTA 親子環境整備作業も教職員だけで作業をさせていただきました。

第12回輝城祭に向けて テーマは「Change」

9月17日(土)に本校生徒会主催の第12回輝城祭を開催いたします。感染症の状況は厳しい状況がありますが、本校生徒たちが最も楽しみにしている行事であり、全校生徒が目標に向かって力を結集し、より良いものにするために試行錯誤を繰り返しながら取り組み、ともに感動を味わえる場として欠かすことのできない行事であると考えています。すでに生徒会本部の中では6月から準備が始まり、7月には実行委員会や各部門が組織され、夏休み中も各学年、部門ごとの取り組みが行われています。今年度のテーマは「Change」7月に発表された生徒会の提案文書を読み取ると「現在の世界や社会は大きく変化し、学校も大きく変化してきています。輝城祭の取り組みや当日の活動を通して、私たち生徒一人一人も、学級・学年・全校生徒集団も、これまでの自分や集団に満足することなく、より良い方向に向かってプラスの変化(成長)をしていこう」という思いが込められています。今年度の輝城祭がどのようなものになるか今からとても楽しみです。今のところ保護者の参観については、各家庭1名で入れ替え制を考えています。今後のコロナの状況によっては、開催方法を変更する場合もあることをご承知置きください。



↑ 輝城祭ポスターコンクール実施中